

<学校評価報告>

重点項目について 児童・保護者・教職員のアンケート結果 (R6年度前期)

○ アンケート回答項目

4：よくあてはまる 3：だいたいあてはまる
2：あまりあてはまらない 1：まったくあてはまらない 無：わからない、無回答

○ 集計評価区分

A：十分に達成（肯定率90%以上かつA評価35%以上） B：相当程度達成（肯定率75%以上）
C：やや不十分（肯定率60%以上） D：不十分（肯定率60%未満）

※肯定率とは、アンケートで4・3を選んだ割合。
※昨年度と比較し、特に評価の変化があった場合に△▼を記入。

① 学校生活

評価項目		評価	評価者	4	3	2	1	0	肯定率(%)	評価4(%)	比較
学校は、楽しいですか。	R5.7	A	児童	69	42	5	3	-	97	59	-
	R6.7	A	児童	67	40	5	0	-	96	60	
子どもは学校へ行くのを毎日楽しみにしている。	R5.7	B	保護者	41	31	17	2	0	79	45	-
	R6.7	B	保護者	48	35	9	1	1	89	52	

② 授業

評価項目		評価	評価者	4	3	2	1	0	肯定率(%)	評価4(%)	比較
授業は、分かりやすいですか。	R5.7	A	児童	55	53	9	2	-	91	46	-
	R6.7	A	児童	62	45	5	0	-	96	55	
子どもは、授業が楽しく分かりやすいと言っている。	R5.7	C	保護者	17	45	23	2	1	71	20	△
	R6.7	B	保護者	26	51	13	3	1	83	28	

③ 家庭学習の習慣

評価項目		評価	評価者	4	3	2	1	0	肯定率(%)	評価4(%)	比較
家庭学習はできていますか。	R5.7	A	児童	56	57	5	1	-	95	47	-
	R6.7	A	児童	59	48	5	0	-	96	53	
家庭学習の習慣が身に付いている。	R5.7	D	保護者	19	35	30	7	0	59	21	△
	R6.7	C	保護者	27	43	18	6	0	74	29	
家庭学習の習慣が身に付いているか。	R5.7	B	教職員	1	9	1	0	-	91	9	-
	R6.7	B	教職員	0	9	1	0	-	90	0	

④ あいさつ

評価項目		評価	評価者	4	3	2	1	0	肯定率(%)	評価4(%)	比較
気持ちのよいあいさつができていますか。	R5.7	B	児童	51	52	14	2	-	87	43	-
	R6.7	B	児童	52	43	15	2	-	85	46	
気持ちのよいあいさつのできる子が育っている。	R5.7	C	保護者	22	37	27	2	2	67	25	▼
	R6.7	D	保護者	20	34	31	8	1	58	22	
気持ちのよいあいさつのできる子が育っている。	R5.7	B	教職員	1	7	2	0	-	80	10	▼
	R6.7	D	教職員	0	5	5	0	-	50	0	

⑤ 正しい言葉遣い

評価項目		評価	評価者	4	3	2	1	0	肯定率(%)	評価4(%)	比較
正しい言葉遣いができていますか。	R5.7	B	児童	48	54	14	3	-	86	40	-
	R6.7	B	児童	37	62	13	0	-	88	33	
正しい言葉遣いができる児童が育っている。	R5.7	C	保護者	16	41	30	1	1	65	18	▼
	R6.7	D	保護者	2	50	34	7	1	56	2	
正しい言葉遣いができる児童が育っている。	R5.7	C	教職員	0	8	3	0	-	73	0	△
	R6.7	B	教職員	0	8	2	0	-	80	0	

⑥ いじめや差別のない学級づくり

評価項目		評価	評価者	4	3	2	1	0	肯定率(%)	評価4(%)	比較
相手のことを考えて友達に優しくできていますか。	R5.7	B	児童	59	47	11	2	-	89	50	△
	R6.7	A	児童	61	48	3	0	-	97	54	
いじめや差別のない集団づくりができています。	R5.7	C	保護者	32	30	23	3	1	70	36	△
	R6.7	B	保護者	31	48	10	5	0	84	33	
いじめや差別のない集団づくりができています。	R5.7	B	教職員	2	8	1	0	-	91	18	△
	R6.7	A	教職員	4	6	0	0	-	100	40	

※ ゲームやネットの利用について

評価項目		評価	評価者	4	3	2	1	0	肯定率(%)	評価4(%)	比較
子どもはネット依存にならないよう、ルールを守ってゲームやインターネットを使用している。	R5.7	C	保護者	23	35	25	7	0	64	26	-
	R6.7	C	保護者	21	36	27	7	3	63	23	

【今後の方向性】

「目標に向かって主体的に行動する児童を育てる」

- 学ぶ楽しさを実感できる、分かる授業作りに努める。
- 自己肯定感を高めるとともに、互いに認め合える集団をつくる。
- 集団への所属意識を高め、互いに支え合える学校・学級経営に努める。

「規則正しい生活習慣を確立する」

- 自分から先に気持ちのよい挨拶ができる児童を育成する。
- その場に合った言葉遣い、相手を思いやる言葉遣いができる児童を育成する。
- ゲームやネット等、ICT機器の活用状況を改善する。
- 個々の実情を把握し、適切な家庭学習ができるよう工夫する。

【保護者からいただいた御意見】

○世帯数も減っているのに、PTAの形や旗持ち当番の回数を見直して欲しい。

⇒御意見ありがとうございます。現在、PTA本部を中心に、来年度以降のPTA役員の再編成について検討しています。また、朝の交通当番については、家庭数の少なかった南門踏切の当番の回数を減らしました。今後もPTA会員の皆様の御意見を参考にして、PTA本部と連携して対応していきます。